

記事掲載：2022 年 4 月

翻訳：2022 年 4 月

**ECW は、ウクライナ隣国モルドバにて 650 万ドルを拠出：
パートナーとともに、危機の影響を受けた子どもと若者のために
ウクライナ危機における教育支援を拡大**



©Education Cannot Wait

この度、米国国際開発庁（USAID）は [ECW](#) に対する新たな 1,800 万ドルの拠出を発表しました。これは、USAID が英国外務国際開発省（FCDO）、NGO の Theirworld とともに参加した、ECW のハイレベル・ミッション（政府高官による現地視察団）の視察中に発表されたものです。これにより、USAID は ECW の 3 番目に大きなドナーになります。

ECW は 4 月 13 日、3 月に発表した 500 万ドルのウクライナ [第一次緊急対応基金](#) に加え、モルドバにおけるウクライナ難民危機への教育支援として新たに 150 万ドルを配分することを発表しました。この発表は、パートナーである [USAID](#)、[FCDO](#)、[Theirworld](#) と実施した現地視察中に発表されました。この新たな拠出により、ECW のウクライナ危機への教育対応は、650 万ドルに達しました。今回の拠出は、難民の

子どもや若者が安全で保護された学習の機会を得られるよう、モルドバ政府との協力のもとに実施される支援となります。また、この支援により、モルドバにて難民を受け入れる側のホストコミュニティの子どもたちにも利益をもたらします。支援はウクライナ支援を調整するメカニズムを通じて実施される予定です。

現地視察の期間中、USAID は、ECW 信託基金に 1,800 万ドルを追加拠出し、世界各地の危機に瀕した国々における ECW の教育対応をさらに支援することを発表しました。この拠出により米国は、ドイツ、英国に次いで 3 番目に大きな ECW のドナーになりました。

一方で、ウクライナに対する資金はまだ不足しています。緊急に対応が必要な教育支援に対し、3,000 万ドルの資金不足が見込まれており、ECW はドナーやパートナーに対し、この地域で起きている膨大な人道危機に対応するための追加資金を緊急に提供するよう呼びかけています。

最近の報道によると、2 月以降、ウクライナ紛争の激化から逃れるために約 40 万人が国境を越えモルドバに流入したとされています。その大半は、近隣諸国や西ヨーロッパを目指しさらに旅を続けていますが、モルドバでは現在推定 10 万人の難民を受け入れています。その中には約 5 万人の難民の少年少女が含まれ、そのうち学校に通っているのはわずか 1,800 人です。

「ウクライナからの難民の子どもたちは、残酷な戦争から逃れ、モルドバにたどりついています。彼らは、多くを奪われ、心に傷を負っています。子どもたちはとても脆弱な状況に置かれており、早急な支援が必要です。公立学校は難民の子どもたちに開放されていますが、すでに限界を超えています。就学前や学齢期の難民の子どもたちの流入に対応するために、精神衛生・心理社会的サービス、衛生管理、教員が緊急に必要とされています。モルドバにおける支援は、調整の上各機関・組織と協働して対応しており、それによって私たちは迅速に行動することができます。だからこそ、今すぐ行動するのです」と、ヤスミン・シェリフ ECW 事務局長は言います。

「英国は、ECW の主要なドナーとして、危機に瀕した子どもたちを含め、すべての子どもたちの教育を受ける権利を守ることに尽力しています。私たちは、ウクライナからの難民の子どもたちのために、協調して教育支援を拡充する用意があります。教育は、ウクライナで進行中の人道的対応に不可欠な要素として優先されなければなりません」と、FCDO の教育・ジェンダー・平等担当ディレクター・ジェンダー特使アリシア・ハーバートは述べています。

「生活が一変した子どもたちにとって、教育は安定と未来への希望に不可欠なものです。Theirworld は今後数週間のうちに難民の教育プロジェクトのための追加支援を発表し、他の緊急事態での経験を生かし、ドナーが人道的対応資金の 10%を教育に投資するようキャンペーンを行います」と、ジャスティン・ヴァン・フリート Theirworld 代表は言います。

「教育は難民が尊厳を持って生活するための鍵であり、最初に必要とされるサービスの一つです。モルドバ政府、教員、コミュニティが難民の子ども・若者を受け入れてくれたことに大変感謝しています」とフランチェスカ・ボネリ国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）モルドバ代表は述べました。

「新型コロナウイルス感染症による学校の閉鎖は、閉鎖による学習上の損失が、単に学校に行けなかった日数以上のものであることを教えてくれました」とマハ・ダマジ ユニセフモルドバ事務所代表は言います。「モルドバでは、ユニセフはパートナーと協力して、ウクライナからやってくる難民の子どもたちが、安全で協力的な環境の中で学習経験を取り戻し、戦争のトラウマに対する回復力を養えるよう支援しています」。

ウクライナに住む子どもたちや若者は、戦争によって深刻な危険にさらされています。最近の推定によると、約 500 万人の難民がウクライナから脱出し、さらに 710 万人が国内避難民となっています。ウクライナのすべての学齢期の子どもたちは、紛争によって教育が中断されています。最新の推計によると、900 以上の教育施設が戦闘で破壊または破損し、330 万人もの学齢期の子どもたちが緊急の人道支援を必要としているとされています。

今回の ECW による新たな資金拠出は、急激な変化に対応しようとするモルドバ政府による取り組みを支援するものです。モルドバ政府は、自国の教育制度に難民の子どもたちを組み込めるよう、基準となる枠組みを設定しようとしています。ウクライナでは様々な人道支援が実施されていますが、今回の資金拠出はその一環として実施されるものであり、すでに発表されている ECW の 500 万米ドルの「第一次緊急対応」を補完するものです。ECW は、政府、ドナー、国連機関、市民社会組織、その他のパートナーと協力し、危機の影響を受けた子どもたちが教育を受け続けられるように活動しています。

【翻訳前の記事（英語）】 <https://www.educationcannotwait.org/ecw-mission-to-moldova/>